

2019

社会福祉 しずおか

10
No.827

特集 赤い羽根共同募金

福祉のまちづくり絵画コンクール優秀作品を紹介します(平成30年度)

テーマ やさしさでつながる福祉(しあわせ)のまち



「笑顔広がるみんなのまち」

子どもからお年よりまで、みんなが笑顔でいられるように、ハートでやさしさや
ありがとうという気持ちを表現しました。



★静岡県知事賞

長泉町立南小学校(6年) 加藤万里愛さん

※学校名、学年は平成30年度のものです。

編集発行



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670 静岡市葵区駿府町1番70号 電話.054-254-5248 FAX.054-251-7508 <http://www.shizuoka-wel.jp>
E-mail spcsw@shizuoka-wel.jp

※本機関紙は皆さまの会費を充当し発行しております。





赤い羽根共同募金

今年も10月から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。これまで70年以上にわたり多くの皆様に支えられ、続けられてきた国民たすけあい運動ですが、近年、その実態の見えにくさや、社会貢献のしくみの多様化等により、様々な課題に直面しています。

しかし、共同募金会はそんな逆境をバネに、新たな取り組みを考え、挑戦を始めています。今回は、そんな共同募金の現状と、今後の方針についてご紹介いたします。

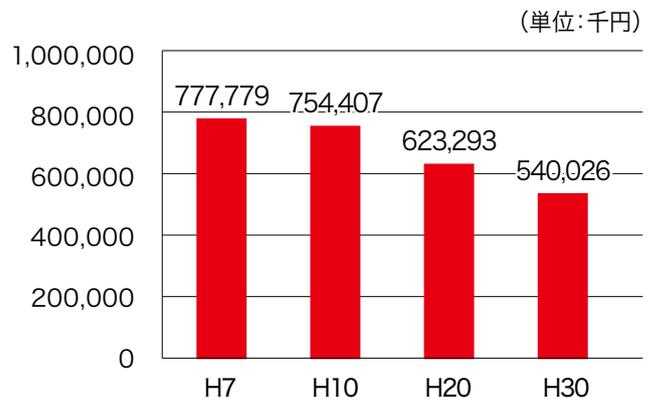
赤い羽根共同募金運動は定着しているが、実態が見えにくくなってきている

赤い羽根共同募金運動は、昭和22年に国民一人一人が助け合いの精神で取り組む「国民たすけあい運動」として開始され、以来、NHK歳末たすけあい、地域歳末たすけあい募金と裾野を広げて70数年にわたり継続されてきました。

この間、本県においても、自治会や民生委員・児童委員をはじめ、多くの募金ボランティアの皆さんのご尽力により、寄付金総額はおよそ299億円に上り、赤い羽根共同募金の助成によって、それぞれの時代における福祉課題の解決を支援し、地域福祉の推進に大きく寄与し、「赤い羽根」は広く国民の間で定着してきました。

しかし、近年は個人、企業における社会貢献意識の高まりにより社会貢献のしくみが多様化したこと、加えて、赤い羽根共同募金は、募金方法や助成内容が固定化し、寄付者からその実態が見えにくくなり、寄付金額は平成7年度をピークに減少してきています。

静岡県内の共同募金実績額推移



赤い羽根共同募金のニーズは依然拡大している

一方で、人口減少、高齢化の進行や流動化する社会・経済情勢を背景に、地域・家庭・職場など身近な生活領域での支え合いの基盤が弱まり、地域の福祉的課題は生活困窮、社会的孤立など、複雑・多様化しています。

また、頻発する地震や洪水等の自然災害時に、被災者支援や災害ボランティア活動の迅速な支援のためにも、赤い羽根共同募金への資金ニーズは依然として拡大しています。

地域を取り巻く福祉課題

孤立
孤独

認知症
の対応

子供の
安全安心

難病
障がい

虐待
暴力

ニート
ひきこもり

赤い羽根共同募金運動の運動性の再生を目指す

本年度は、全国共通テーマ「地域から孤立をなくそう」を達成するために、「参加と協働による『新たなたすけあい』の創設」を謳う共同募金運動70周年答申実現のための具体的な取組を継続するとともに、3ページの5本柱(重点方針)に沿って活動を展開し、共同募金運動の運動性の再生を目指します。

新たな展開と今後の可能性

① 募金増額のための
新たな募金手法への挑戦

従来からの募金手法である戸別募金等とともに、使途選択募金の展開、寄付つき商品の開発、社会貢献型自動販売機の設置、インターネット募金、遺贈の受入など新たな募金手法に挑戦します。

寄付つき商品
「プレミアム赤い羽根バッジ」
頒布価格1,000円(うち485円が共同募金への寄付)



【取り扱い】
・県庁東館2階「喫茶びあ〜」
・郵送でのお届けも承ります。

「ご遺贈・相続寄付のご案内」

ご希望の方には資料を郵送いたします



(中央共同募金会のホームページからデータをダウンロードできます。)

② 助成活動
「使いみちの見える化」

地域福祉活動の資金ニーズを的確に把握し、既存のサービスでは対応できない時代に即した助成メニューの追加、助成基準の明確化を行うとともに、「ありがとうメッセージ」の活用など使途の見える化に努め、助成が募金につながるしくみを目指します。

③ 「赤い羽根共同募金」を通じた寄付文化の醸成

社会貢献意識が高まる中、「赤い羽根」の知名度を活かし、学校、自治会、企業(CSR活動)等に対して広報用DVD等を活用した広報や、イベント等での寄付機会の提供を行うことにより、募金活動への参加を促し、寄付文化の醸成を図ります。

④ 社会福祉協議会との連携強化

募金活動及び助成活動で大きな役割を果たしている県及び市町社会福祉協議会との連携を密にして、赤い羽根共同募金運動の活性化

化や運用改善に取り組みます。

⑤ 組織の活性化と開かれた組織

運動性の再生を図るため、自らも機能強化を図るとともに、市町共同募金委員会の組織の強化などを支援します。

また、経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性を図り、寄付者に信頼される開かれた共同募金会を目指します。



助成先からの感謝の声

平成31年4月に開園した「音の森こども園(浜松市)」に、共同募金運動70周年記念助成(当年度機器整備)として、テーブルやイス

等の生活用品を助成しました。こども園からは、「笑顔で毎日使っています。みなさん本当にありがとうございます！」と感謝のメッセージが届きました。



赤い羽根ニュース

広報用ビデオの活用

赤い羽根共同募金って知ってる？
しじぶんの町を良くするしくみ！

「赤い羽根」は知っていても、目的や使いみちが分からないという声にお応えして、共同募金が「何のために使われているか」をもっと知っていただくための広報用ビデオを制作しました。

町のさまざまな福祉課題を解決している共同募金の「たすけあい運動」に、多くの皆様に参加していただくきっかけになるように、説明会、研修会、福祉教育の教材として是非ともご活用願います。



(収録時間 8分50秒)

こども食堂 赤い羽根バースデー

「こども食堂」が開催する誕生日イベントに対し、障害福祉サービ

ス事業所等が製造するケーキ等をプレゼントする「こども食堂誕生日会・授産製品応援事業」を平成30年度から新たに始めました。



初年度は半年間で35のこども食堂に對して、9つの事業所が製造するケーキ416セットを届け、多くのこどもと障害者の支援につながることができました。

こどもたちからは、「誕生会でみんなともっと仲良くなれた。」「お祝いしてもらって、少し照れたけど嬉しかったです。」と喜びの声が届いています。

また、こども食堂のボランティアの皆さんからは、「大人数でご飯を食べることはもちろんのこと、大きなケーキを切り分けて食べる機会がないので、大変嬉しいです。」「関わっている全ての人がハッピーになる『赤い羽根バースデー』の取り組みに感謝します。」とメッセージをいただきました。

使途選択募金の展開

「使いみちを選べる赤い羽根共同募金(使途選択募金)」は身近な福祉課題を解決するために立ち上がった団体の活動を応援するための募金運動です。

通常の赤い羽根共同募金とは異なり、応援したい団体を選んでいただけますので、「ご自分で、寄付金の使いみちを選ぶことができる」新しいタイプの募金方法です。

今年度は13団体が取り組めます。
(運動期間：令和2年1月1日～3月31日)

赤い羽根の 生産不足への対応



共同募金運動のシンボルとして使用する「赤い羽根」ですが、今年度は羽根の確保ができないという事態になっています。

全国の共同募金会においても同様であるため、中央共同募金会と全国の共同募金会と対応を協議した結果、当面の緊急的な対応として、主として戸別募金における配布分については、「ありがとうステッカー」を新たに製作し、代替することとしました。

社会福祉法人 静岡県共同募金会

静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館内
電話:054-254-5212 FAX:054-254-6400



県内の共同募金の使いみちや「ありがとうメッセージ」<http://www.shizuoka-akaihane.or.jp/>



静岡県社会福祉協議会が行う 赤い羽根共同募金助成事業の紹介

本年も10月1日より3月31日まで赤い羽根共同募金運動が全国一斉に実施されます。皆さまの温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。静岡県社会福祉協議会も毎年10月1日には役員による街頭募金活動を行っております。



県社協でも、赤い羽根共同募金から助成を受けて、県民の福祉の向上と「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざして事業を実施しています。昨年度及び今年度に実施している助成事業をご紹介します。

住民参加型生活支援サービス立ち上げ講座開催事業



湖西市



長泉町

地域住民同士の「助け合い・支え合い」により、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていけるためにはどんなことをすればよいのか、自分が暮らす街の地域像や生活課題について、参加者みんなで考えながら、生活支援サービスの創出に向けて、住民の意識を高めることに繋がっています。

福祉教育副読本作成事業



地域のつながりの希薄化が進む現代において、住民主体の地域福祉を推進する基盤として、共に生きる力を育む福祉教育の重要性がより一層高まっています。福祉教育の意義、視点を関係者間で共有するとともに、具体的な展開方法をイメージするための「福祉教育副読本」と「教員用手引き」を作成し、県内の全小学4年生、教員に配布し、福祉教育の充実を図っていきます。

災害福祉支援体制整備事業



災害発災後に、市町社協が開設する災害ボランティアセンターを支援するために、活動用資機材を購入し、県内3ヶ所に倉庫を設置しました。また、避難所における災害時要配慮者支援の活動を行う静岡県災害派遣福祉チームの活動用車輛を購入し、迅速な派遣体制の構築につながり、平常時には県内各地で取り組む災害に備えた地域コミュニティづくりに協力しています。

生活困窮者支援事業は、県社協が「使いみちを選べる赤い羽根共同募金（使途選択募金）」に参加して、自ら募金活動を行い、福祉課題の解決に努めています。





「ABCしあわせ基金」寄附金並びに車両贈呈式



令和元年8月22日(木)、「ABCしあわせ基金寄附金贈呈式及び車両贈呈式」が執り行われ、株式会社ABC様(代表取締役社長 富田英児氏)から「ABCしあわせ基金」に500万円の御寄附をいただきました。

「ABCしあわせ基金」は、今年で17年目を迎え、寄附総額は1億1641万円にも及びます。

また、寄附金をもとに今年度は3団体に車両が贈られ、寄贈車両総数は累計72台(令和元年度含む)となりました。

贈呈式では、株式会社ABC富田英児代表取締役社長様から御挨拶をいただき、その後、県社協の神原会長とともに、お二人から寄贈先3団体の代表者にゴールデンキーが授与されました。

ゴールデンキーを手にした代表者からは、喜びと感謝の言葉とともに、改めて事業の熱意が述べられました。

「ABCしあわせ基金」のロゴの入った車両が、県内各地で活躍しています。

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会「ABCしあわせ基金」について



静岡県、山梨県、長野県、愛知県で38店舗のパチンコホールを展開している株式会社ABC様から、創業50周年の記念事業の一環として、在宅福祉活動の充実と発展を図ることを目的に寄附いただいた浄財により、平成15年に設置されたものです。以来、本会を通じて毎年社会福祉団体や民間非営利活動団体等へ車両を寄贈しています。

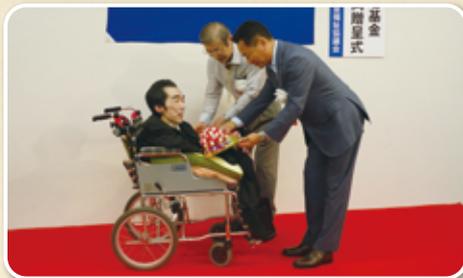


寄附金の授受

中央右から寄附者:富田社長、富田専務、富田常務
中央左から寄附受領者:神原会長、松浦常務、高橋事務局長



株式会社ABC 富田英児 代表取締役社長



富田社長と神原会長からゴールデンキーの授与



富田社長、富田専務、富田常務、神原会長、松浦常務、運営委員の方々
と寄贈先3団体の方々

令和元年度 寄贈先団体

社会福祉法人「東静会」[沼津市]

事業内容:母子生活支援施設、子育て短期支援事業
寄贈車両:日産 バネット

社会福祉法人「庵原福祉会」

さくらワーク[静岡市]

事業内容:就労継続支援事業、生活介護事業
寄贈車両:スズキ キャリイ

特定非営利活動法人「Harmony」

放課後等デイサービスえるぴす[浜松市]

事業内容:重症心身障害児対象放課後等デイサービス事業
寄贈車両:ダイハツ ハイゼットカーゴ



静岡県社会福祉人材センター研修課主催の研修会のお知らせ

2019年12月開催分をお知らせします。

★ラクラク申込み「WEBサービス」(会員対象)を御利用ください!→WEBサービスサイト <http://www.shizuoka-wel.jp/learn/information/>

研修NO	研修名	開催日	会場	対象者	内容・講師	受講料 会員(非会員)
42	車いすメンテナンスセミナー	12/6 (午前)	シズウエル	老人福祉施設・介護 保険事業所等に 勤務する方	車いすを利用する方が快適に過ごせるよう、車いすの調整とメン テナンスを学ぶ 講師:井出商会 代表 井出 容敬 氏	3,000円 (5,000円)
41	快適なおむつの使い方講座	12/6 (午後)	シズウエル	老人福祉施設・介護 保険事業所等に 勤務する介護職等	介護現場における紙おむつ装着に関する知識や技術の習得を する 講師:花王プロフェッショナル・サービス(株)中部支社	3,000円 (5,000円)
70	管理者・管理職員が知っておきたい 介護現場における高齢者虐待の 予防と対応	12/10	シズウエル	老人福祉施設・介護 保険事業所等の 管理者等	虐待防止への取り組みと発生時の対応方法等、管理者等に 必要な知識を習得する 講師:川村社会福祉士事務所 川村 孝俊 氏	4,000円 (6,000円)
68	福祉職員のための ヒヤリハット・アクシデントセミナー	12/11	シズウエル	社会福祉施設・介護 保険事業所等に 勤務する方	介護施設のリスクマネジメント、介護中の事故防止を学ぶ 講師:株式会社 安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏	4,000円 (6,000円)
52	利用者を癒すタッチケア ～セラピューティック・ケア～	12/12	シズウエル	老人福祉施設・介護 保険事業所等に 勤務する方	「触れること」の効果を再確認し、介護等における活用方法を学ぶ 講師:認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会 講師 柴田 郁代 氏	4,000円 (6,000円)
103	入居者家族との より良い関係づくり講座	12/16	静岡県 産業経済会館	社会福祉施設・介護 保険事業所等に 勤務する方	入居者家族が抱える想いを理解し、より良い関係づくりのため のポイントやアプローチ方法を学ぶ 講師:大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 准教授 井上 修一 氏	4,000円 (6,000円)
106	リフレッシュ講座	12/17	シズウエル	社会福祉施設・介護 保険事業所等に 勤務する方	「音楽療法」をメインにした利用者にも活用できるリフレッシュ方 法を習得する 講師:国際音楽療法専門学院 学部長 吉村 奈保子 氏 教務 渡邊 えりか 氏	4,000円 (6,000円)

☆ 研修開催日の延期のお知らせ

事前に開催を予定していた下記研修につきましては、開催を延期致します。開催日が決まり次第改めて御連絡します。

研修No	研修名	当初開催予定
6	【新規】高口光子の多職種連携講座	12/2

☆詳しくはホームページをご覧ください

静岡県社協 研修

検索

問い合わせ先: 研修課 電話 054-271-2174

◎最新の「研修開催の情報」を、電子メールで事業所様にお知らせします! kenshu@shizuoka-wel.jp に①事業所名 ②担当者名 ③電話番号 ④電子メールアドレスを
入力の上、件名「研修開催の情報 メール受信希望」として送信してください。なお、2か月経過後も配信がない場合は、下記研修課まで御連絡ください。

◎県社協が行う自主研修には、皆様の会費を充当しております。

里親月間

厚生労働省は、毎年10月を「里親月間」として里親の登録・子どもの委託促進のための啓発運動を行っています。里親制度等の家庭的な養護が子どもの最善の利益にかなう有意義な制度であることを広く県民・市民に啓発することで、社会的養護についての理解を深めるとともに、地域全体で子どもを支える地域社会の構築を目的としています。

各都道府県においても、この期間に様々な関連イベントが行われます。静岡県では、里親月間記念講演会を毎年開催しています。

今年度は、第44回放送文化基金賞ラジオ部門最優秀賞受賞作品「幸せのカタチ～本当の親子本物の親子～」の制作に当たったSBS静岡放送アナウンサー原田亜弥子氏を講師に迎え、里親とその支援者が苦勞を乗り越え作り上げた「家族のカタチ」を紹介します。

日時: 令和元年10月20日(日) 13:00～16:00
場所: アイセル21

※里親制度とは

里親制度は、様々な事情で自分の家族と暮らせない子どもたちを、温かい愛情と正しい理解を持った家庭環境の下での養育する制度です。家庭での生活を通じて、子どもが成長する上で極めて重要な特定の大人との愛着関係の中で養育を行うことにより、子どもを健やかに育てます。

社会福祉しずおか 広告募集

広告を掲載して、イメージアップ・顧客アップを図りませんか？

掲載紙名：機関紙「社会福祉しずおか」

発行部数：毎月11,300部発行
 本会会員（県内福祉施設、団体、民生委員児童委員、企業等）、県内小中高等学校等

掲載回数：年1回～毎月まで

サイズ：ご希望にあった掲載をお選びいただけます。
 3タイプのサイズをご用意しております。
 詳細についてはお問い合わせください。

問合せ先 静岡県社会福祉協議会 福祉企画部地域福祉課
 電話 054-254-5224



ありがとうございました

県社協への寄附金

FUTABA道の会 様から
 10,000円のご寄附をいただきました。
 (7月25日)

施設のメンテナンスを効率良い専門車輛で応援します。

カーテン出張クリーニング



特許ランドリー車

カーペット・タイル出張丸洗い



ブラインド・ロールスクリーン出張クリーニング



株式会社三ナフ

静岡県静岡市葵区産女 1060-1

フリーダイヤル 0120-370286

fax 054-295-9003

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人
 加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
賠償責任	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料 (1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
	天災タイプ(*) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(*)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行食用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。